

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京]

2024 08

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、仙台、福岡、広島にて46万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

本紙はスポンサー様の協賛により制作しております。

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社デイリースポーツ案内広告社

〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F

©2024 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



「裸眼で見える喜び」を、再び。
2人の名医に聞く「ICL治療」の実際。

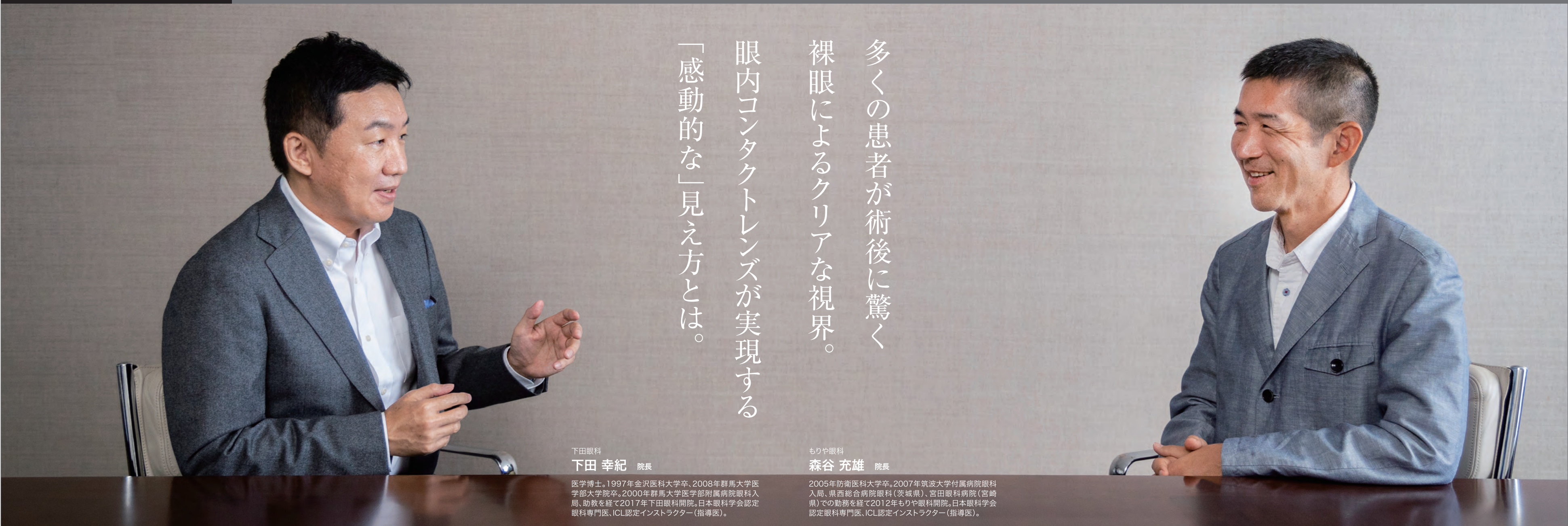
いま世界的に近視の発症率が急激に上がっている……という報道をよく目にする。この場で自分の周囲を見渡しても、正面にPCのマルチディスプレイがあり脇にはノートPC、手元にはスマホやタブレット、さらには携帯ゲーム機まで控えているとなれば、目に負担がかからないわけがない。特に先のコロナ禍でリモートワークが増えてからは、目の疲れ方が酷くなっていることを実感するビジネスパーソンも多いだろう。

これまで良好だった視界が見えにくくなると、当然、視力の矯正が必要になる。方法はいくつもあるが、最も身近な眼鏡はスポーツ時の振動や発汗でズレやすく、外見の印象が変わることを気にする人も多い。コンタクトレンズは、着脱の手間に加えてドライアイも気になる。レーシック手術も含め、こつしている」と調べていくと、「もうひとつの視力矯正法」に話題が集まっていることに気付くだろう。

ICL(眼内コンタクトレンズ)手術は、目の中に小さなレンズを入れて近視や乱視を矯正する治療法のことだ。レーシック手術とは根本的に異なっていて、角膜を削らないことから人気が高まっており、手術件数も急増中。新たな視力矯正法として定着しつつある。

ネットで調べても情報が氾濫しており、どれを信じてよいのかわかりにくい。そこで今回は、栃木県と長野県で数多くの実績を有し、それぞれ地域を代表する2人のICL認定指導医を招き、ICL手術の実際について詳しくお話を伺った。

My Favorite Life Style



下田眼科 院長 下田 幸紀

医学博士。1997年金沢医科大学卒、2008年群馬大学医学部大学院卒、2000年群馬大学医学部附属病院眼科入局、助教を経て2017年下田眼科開院。日本眼科学会認定眼科専門医、ICL認定インストラクター(指導医)。

もりや眼科 院長 森谷 充雄

2005年防衛医科大学卒、2007年筑波大学付属病院眼科入局、県西総合病院眼科(茨城県)、宮田眼科病院(宮城県)での勤務を経て2012年もりや眼科開院。日本眼科学会認定眼科専門医、ICL認定インストラクター(指導医)。

多くの患者が術後に驚く裸眼によるクリアな視界。眼内コンタクトレンズが実現する「感動的な」見え方とは。

地域を代表する2人の認定指導医がICL手術のポイントを解説

近年、とみに注目が高まっているICL手術。ネットです少し調べただけでも情報が洪水のように流れ出し、噂々噂々の玉石混交で混乱してしまふ人も少なくないだろう。そこで今回は、それぞれ栃木県と長野県を代表するICL認定指導医として活躍中の森谷充雄先生と下田幸紀先生をお迎えし、基礎知識から手術のベネフィット、リスク、治療を受けた方の感想まで、詳しくお話を伺った。

——最近はやブレイクでもよく見聞きするICL手術ですが、まず治療のアウトプットを教えてください。

下田 ICLとは、眼内コンタクトレンズを指します。大まかに言いますと、瞳の裏側である虹彩と水晶体の間に柔らかい素材のレンズを入れることで、近視や乱視を矯正する治療法となります。メネパンス不要でクリアな視界を維持できることが特徴です。

森谷 眼鏡やコンタクトレンズはいずれも目の外側に着けるアイテムで、とても手軽ではあるのですが着脱の煩わしさは残ります。また、コンタクトレンズはきちんと管理しないとアレルギーや感染症の原因ともなり得ますので、一度手術を受ければメンテナンスフリーのICL治療に魅力をお感じの方が多いいです。

——ICL手術を希望するのはどんな方が多いですか。

——最近、近視が増えているという報道をよく目にしますが、これは本当でしょうか。

下田 昔より圧倒的に増えていると感じますね。特に小学生や中学生の間で広がっていることを実感します。スマホや携帯型ゲーム機を長時間にわたり凝視することで、近視の進行が助長されているというのは確かだと思います。

森谷 最近では世界的に近視の方が激増したとされていますが、コロナ禍で室内で過ごす時間が多くなり、遠くを見る機会が減ったことも理由のひとつなのではないでしょうか。

——ICL手術に興味はあるけれど、躊躇してしまう方も

森谷 コロナ禍が明けて活動が自由になると同時に眼鏡やコンタクトレンズの煩わしさは改めて気付いたという方は多いですね。また、ICL手術を受けたご家族やご友人に紹介されてご来院になる方も多いです。

下田 経験者から詳しく聞いて「自身も受けることになった」という方は、実際に目に見えて増えています。また、職業では医師や看護師、警察官や消防士など、夜勤があるお仕事の方も目立ちますね。コンタクトレンズだと仮眠を取る時に不便なのだそうです。

森谷 男女比はいかがですか。私の感覚では女性の方が多くに思っています。

下田 同感です。ファッション面で裸眼の方が有利とお感じの方も少なからずあります。

——患者の皆さんは、ICLのどこにベネフィットを感じているのでしょうか。

森谷 実は、私自身もICL手術を受けていました。

——え、そんなんですか。それなら、患者の視点をリアルに解説いただけますね。

森谷 以前は眼鏡を使用していたのですが、たとえば入浴時に外して髪を割るのが結構難しいんです(笑)。温泉では景色が楽しめますし、非常時の紛失も怖いです。

下田 ICL手術を受けた後は

——少ないと思います。

下田 実体験を伝えられるのは強いですね(笑)。当院でも手術前にスタッフや担当医が丁寧なカウンセリングを実施しています。

——ICL手術を受けた方の感想には、どのような声がありますか。

下田 手術の翌日からかなり見え方がクリアになりますので、「やはり感動した」という声が多いですね。特に痛みもありませんので、満足度は非常に高いと思います。

森谷 手術の翌日診察室に「ニコニコ」の笑顔で入ってこられますので、それだけで喜ばれているのを感じます。「こんなに見えるようになって嬉しい」という言葉をいただく、私も嬉しくなります。



の方が、そういった小さな不便が日常のあちこちにあって、これを再確認したという話も、よく耳にしますよ。

森谷 そうなんです。何十年も着けていると当たり前になるのですが、不便な生活を強いられたいんだと改めて実感しました。

——そうして当たり前で日常に存在していた不便が解消されるということも魅力のひとつかもしれません。

下田 そうですね。また、ICL手術は角膜を削りませんので、強度の近視にも対応が可能です。そして、術後数年すると再度近視が出現してくる「近視戻り」が少ないこともICL手術の特徴です。

——逆に「元に戻す」ことも可能と聞きました。

森谷 はい、いつでもレンズを取り出すことができます。ICL手術は眼科専門医の

下田 私が開業している長野

Biz Life Style Pick up

レーシックより歴史が長く安全性も確立された治療法 ICL(眼内コンタクトレンズ)

- 1.点眼薬で麻酔後、角膜の縁を約3mm切開します。
- 2.切開からレンズを眼内に挿入します。
- 3.レンズを虹彩と水晶体の間に配置されるように調整します。レンズは目の中で自然になじみ、近視を治療します。(レンズは虹彩の下に配置されるので内眼では見えません。)

——良いクリニックの選び方のようなものはありますか。

森谷 私が思うポイントは2つあります。ひとつはクリニックの整理整頓がきちんとしてできていること。だらしのないクリニックにきちんとした仕事は期待できません。クリニックの外観や掲示物、スタッフの身だしなみを見るときちんとした眼科かどうかある程度わかります。もうひとつは、やはり相性です。話しやすい先生なら感じたことを伝えやすくなりますので、とても重要だと思います。

下田 あとは手術前の説明を自発的に詳しく実施してくれるかという点もチェックして欲しいですね。疑問や不安に残らず回答してくれるクリニックなら安心だと思います。

——最後に、先生方がICL手術に力を入れる上で大切に

中でも実技訓練や多くの講習をクリアしてライセンスを取得した認定医のみが行えますので安心して治療を受けていただけます。

下田 健康な目に対して行う治療ですので、白内障や緑内障、網膜疾患などの眼疾患がある場合は治療適応外となります。

——ICL手術に力を入れて取り組むようになったきっかけはありますか。

森谷 私は近視も乱視も強く、レーシック手術に向いていなかったため眼鏡を使っていたのですが、ICL手術の利点や安全性を聞いて手術を受けました。その結果として得た快適さを知った方に経験して欲しいという想いからICL認定医になりました。

下田 私が開業している長野

にされていることをお聞かせいただけますでしょうか。

下田 患者様の大切な目に手術を行うわけですから、何よりも安心して手術を受けてもらうことを重視しています。いかに安全に手術を行い、患者様が求める視界を実現するか。これこそが、我々ICL認定医に課せられた責務だと考えています。

森谷 患者様の希望やご要望をしっかりとお聞きし、その上で検査や手術の精度を高めることを心掛けています。また、実際に手術を受けた後の感想も含めて結果を次の患者様の治療に繋げていく。精度と安全性の向上は、こうしたプロセスをひたすら繰り返すことで得られるものと理解しています。

——本日はお忙しいところありがとうございました。

My Favorite Life Style



毎朝、矯正器具を着けることなく
そのままクリアに見える喜び。
ICL(眼内コンタクトレンズ)治療を
安心して受診するために
知っておきたい「6つのステップ」。

ICL治療は、世界75カ国以上累計300万眼以上に使用され、世界的にもスタンダードな治療法だ。日本では2010年に厚生労働省から承認を受けており、すでに10年以上が経過。コロナ禍を経て、現在は認知度も大きく向上している。

前ページでも先生方が説明していた通り、ICL治療は認定医が手術を執刀する。手術自体は非常に短時間で済むが、一方で術前の適応検査を十分に行うのが重要だ。目の形状や大きさによっては眼内レンズを入れるスペースを確保できず、手術を受けられない場合もある。事前に詳しい検査を行い、生活習慣まで含めて総合的に検討し、治療の可否を判断することになる。

手術可能と判断されたら、生活スタイルや希望の見え方などに合わせて、術後の視力を決定する。このあたりは感覚的な部分もあるので、疑問が生じた時は何でも遠慮なく質問して不安を解消しておきたい。特に見え方については具体的に希望を伝えておこう。

手術は基本的に日帰り手術。大半は両眼それぞれ10分程度で、術後は概ね2〜3日で一般的な日常生活に戻るることができる。術後は翌日に診察があり、その後は1週間後、1か月後、3か月後と定期的な診察を受けることになる。

Biz Life Style Pick up >>> ICL手術 6つのステップ 初診から手術、アフターケアまでの流れ

<p>① 初診</p> <p>眼の精密検査を実施。ICL手術の内容や手術の注意事項について丁寧な説明を受ける。</p>	<p>④ レンズのオーダー</p> <p>検査結果をもとに専用のレンズをオーダー。乱視用など種類によってはレンズの作成に時間がかかることもある。</p>
<p>② 適性検査(2回)</p> <p>コンタクトレンズの方は装用を中止して検査。装用できない日数は種類によって変化するので指示に従う。</p>	<p>⑤ 手術(片眼 約10分)</p> <p>基本は両眼同日の手術で、15〜20分ほどで終了する。希望によっては片眼ずつ日を分けて受けることも可能。</p>
<p>③ 手術日程の決定</p> <p>手術の日程を調整。概ね1〜2ヶ月後の手術となることが多い。</p>	<p>⑥ 術後検査</p> <p>術後も定期的に診察を実施。原則として翌日、1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、半年後、1年後に受ける。</p>

※クリニックによって、異なる場合がございます。



今回ご協力いただいたクリニック

もりや眼科 <https://www.moriyaganka.com/>
栃木県小山市駅東通り1-15-12

東北北海道新幹線の停車駅であるJR「小山」駅から徒歩8分という便利な立地を誇る「もりや眼科」は、白内障や緑内障から糖尿病網膜症まであらゆる目の病気に対応。それぞれ専門分野を持つ眼科医の高度な治療を受けられるとあって、福島県や埼玉県、群馬県、茨城県など、県内だけでなく他県からも来院者が集まる人気クリニックだ。

白内障の手術は年間で約1400件、硝子体手術は約1500件を手がけ、丁寧な診察と安全な手術で患者の満足度も高い。また、より多くの情報を提供できるように、白内障や眼瞼下垂など各種手術の説明会を定期的に実施。もちろんICL手術の説明会も開催されているので、詳細はWEBで。

もりや眼科
Moriya Eye Clinic



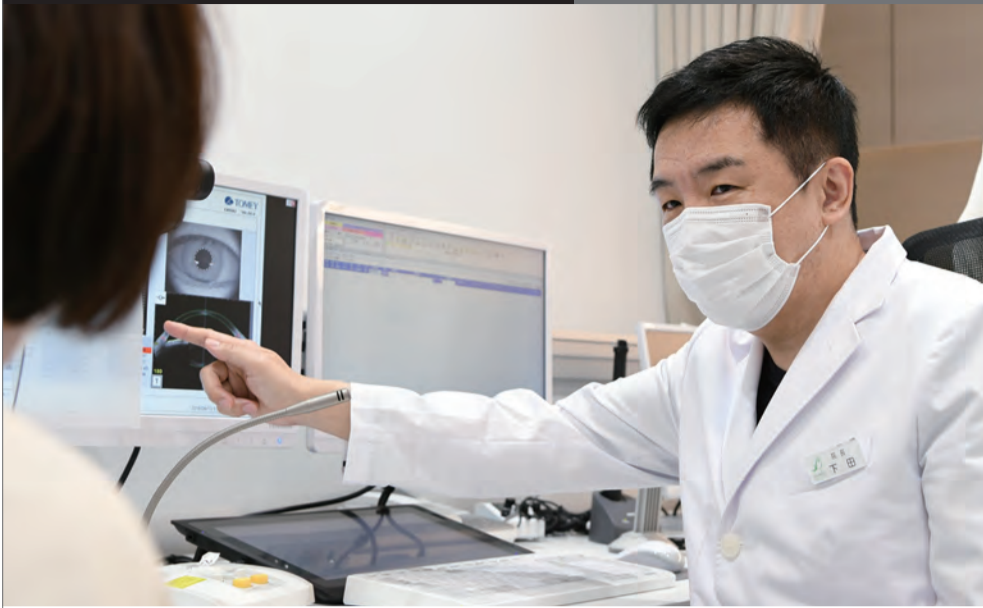
診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	休診	●	●	★
午後 15:00~18:00	●	●	休診	●	●	休診

★9:00~13:00

休診日/水曜日、土曜日午後、日曜日、祝日
TEL.0285-38-7996



My Favorite Life Style



毎朝、矯正器具を着けることなく
そのままクリアに見える喜び。
ICL(眼内コンタクトレンズ)治療を
安心して受診するために
知っておきたい「6つのステップ」。

ICL治療は、世界75カ国、累計300万眼以上に使用され、世界的にもスタンダードな治療法だ。日本では2010年に厚生労働省から承認を受けており、すでに10年以上が経過。コロナ禍を経て、現在は認知度も大きく向上している。

前ページでも先生方が説明していた通り、ICL治療は認定医が手術を執刀する。手術は非常に短時間で済むが、その代わりに術前の適応検査を十分に行うことになる。目の形状や大きさによっては眼内レンズを入れるスペースを確保できず、手術を受けられない場合もあるので、事前に詳しい検査を行い、生活習慣まで含めて総合的に検討し、治療の可否を判断することになる。

手術可能と判断されたら、生活スタイルや希望の見え方などに合わせて、術後の視力を決定する。このあたりは感覚的な部分もあるので、疑問が生じた時は何でも遠慮なく質問して不安を解消しておきたい。特に見え方については具体的に希望を伝えておこう。

手術は基本的に日帰り手術。大半は両眼それぞれ10分程度で、術後は概ね2〜3日で一般的な日常生活に戻るることができる。術後は翌日に検診があり、その後は1週間後、1か月後、3か月後と定期的に検診を受けることになるので、しっかりと確認しておこう。

Biz Life Style Pick up >>> ICL手術 6つのステップ 初診から手術、アフターケアまでの流れ

<p>① 初診(適応検査)</p> <p>コンタクトレンズの方は装用を中止して、検査でICL手術の適応を確認。装用できない日数は種類によって変化するので指示に従う。</p>	<p>④ レンズのオーダー</p> <p>検査結果をもとに専用のレンズをオーダー。乱視用など種類によっては時間がかかる場合もある。</p>
<p>② 術前検査</p> <p>より精密な眼の検査を実施し、ICL手術の内容や注意事項について丁寧な説明を受ける。</p>	<p>⑤ 手術(片眼 約10分)</p> <p>基本は両眼同日の手術で、20〜30分ほどで終了する。希望によっては片眼ずつ日を分けて受けることも可能。</p>
<p>③ 手術日程の決定</p> <p>手術の日程を調整。概ね1ヶ月後の手術となることが多い。</p>	<p>⑥ 術後検査</p> <p>術後も定期的に検査を実施。原則として翌日、1週間後、1ヶ月後、3ヶ月後、半年後、1年後に受ける。</p>

※クリニックによって、異なる場合がございます。



今回ご協力いただいたクリニック

下田眼科 <https://shimoda-eyeclinic.jp/>
長野県上田市常田1-10-78

北陸新幹線(長野経由)の停車駅であるJR「上田」駅から徒歩10分ほどの場所にある下田眼科。白内障や緑内障、網膜硝子体疾患など、さまざまな眼疾患の診療、手術を行なうクリニックだ。最新の眼科機器を使用し、それぞれに専門分野を持つ経験豊富な複数の眼科専門医と士気の高いスタッフによる充実したチーム医療を展開していることが特徴で、地元の情報も厚い。

ICL治療においては、最新の検査治療機器と国家資格を持つ専任の視能訓練士による術前検査を実施し、丁寧に詳細な事前説明を提供。高い技術力を持つICLインストラクター(指導医)が在籍する強みを活かし、高精度で安全性の高い治療を続けている。



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	●	●	●	●	●	●
午後 14:30~17:00	●	●	●	●	●	●
			手術	手術	手術	休診

〒386-0018
長野県上田市常田1丁目10-78

休診日/土曜日午後、日曜日、祝日
TEL.0268-21-0606

